

# 系数 たかこ通信

4号

2022  
7・22

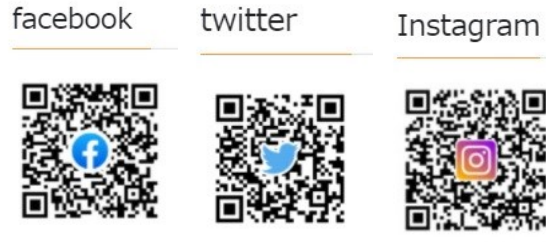


## 系数たかこ通信 那覇市議会活動報告

〒902-0066 那覇市大道169-4 コーポ花城B-102 すぱーす・結内

電話:080-3903-2948 e-mail:itokazu.takako@space-yui.com

後援会ホームページ:https://itokazu-takako.com



たかこ通信は紙面ではなく、EメールでPDFを送ることもできます。Eメール受信に変更したい方は、上記メールアドレスに、お名前と現在通信を受け取っているご住所、PDFデータでの通信受け取りに変更したい旨ご連絡ください。

### 代表質問

#### 市長選挙について

市長の勇退が発表され、現在は選考会が立ち上がっています。今後の動向に影響する市長の考えについて三ライ会派を代表して質問しました。



普天間基地の辺野古移設について



城間幹子市長

私としては、これまでの政治活動の中で、譲歩できるものは譲歩する。最後まで自分について譲れなかったものが辺野古の新基地建設問題。県民投票においても、明確な民意が示されているものと捉えている。

普天間飛行場の辺野古移設反対の意思は、私としては少しも揺らぐものではない。



自民党の代表質問への答弁で

市長は、政治姿勢にか



城間幹子市長

かわらず市民福祉、住民福祉を進める人であれば次の市長選挙で応援することもあるというような答弁だった。シヨックだった。米軍基地から派生する女性や子供への人権侵害について、市長はどう考えるか。



健康部長

那覇市政の運営に当たっては、辺野古新基地の賛否は直接影響するものではない。次期那覇市長選挙には、市民福祉の向上や地域の発展に向け全力を挙げていただきたいと発言した。

これは決して、基地問題は那覇市政に影響がないという意味ではない。市内においても米軍基地に起因する事件・事故が後を絶たず、市政を預かる者として絶対に許されるものではないと考えている。基地問題と市政は決して無関係ではない。

### 産後ケア事業

産後ケア事業とは、出産後、家族等から育児のサポートが得られないなど、特に支援が必要な産婦さんと赤ちゃんを対象とした事業です。助産師さんが産婦さんと赤ちゃんへ心身のケアや育児のサポートを行い、利用にかかる費用の一部を那覇市が負担するものです。11月議会でも質問・要望した事業の充実について、今年度の状況を確認しました。



健康部長

用することはできないのか。多くの方に利用していただけるよう、現在は訪問型、通所型、宿泊型をそれぞれ2回までとなっている。今後、利用者からの御意見を伺い、利用回数等の検討を行いたい。



健康部長

産後の体のキツさ、心細さを感じ出すと、ぜひ回数等、検討してほしいです。

今年度、本市においても通所型、宿泊型が導入され、利用が始まっているとのこと。本間にうれしく思う。運用をスタートして見えてきた課題は？

産婦自身の産後の心身の疲労に気づきにくい場合がある。御家族を含め産後の母子に関わる方々にも当事業に関する情報が行き届くよう、事業の周知に努めていきたい。



健康部長

沖縄の放課後児童クラブ(学童)は、保護者負担の利用料金が全国平均を大きく上回っています。4月からの家賃補助を中心に放課後児童クラブの支援について質問しました。

### 放課後児童クラブ



放課後児童クラブの支援について伺う。



新垣淑博

ことどもみらい部長。主なものは、児童数などに応じ運営費として年間平均約731万円を交付。また、民間アパート等を賃借して運営するクラブへは、賃借料補助として年間平均約90万円の補助を行っている。家庭や学校との情報

上記のほか、ヤングケアラー支援や、子どもの居場所事業について、男性職員の子育て取得率向上の取り組みについてなど質問しました。

代表質問のインターネット中継はこちらのQRコードから



4月13日～15日、東京に研修と視察に行ってきました。研修は「よくわかる市町村財政分析基礎講座」。さまざまな提案や要望など、当局から「財政的に厳しい」と言われると、なんとなく引き下がらざるを得ないような気になります。が、「本当にそうなのだろうか」「ちゃんと知りたい」という思いで一念発起。「習うより慣れろ」の講座は、あつという間でした。現在も那覇市のデータをもとにワークシートを埋め続けています。

### 研修と視察に行ってきました

4月13～14日 NPO法人多摩住民自治研究所主催の講座に、全国の市町議員が参加しました。講師の大和田一紘先生と。



4月15日 世田谷区の羽根木プレーパークを視察。一般質問で那覇市でも検討してほしいと訴えました。

# 一般質問

## 水道水の安全

今回の議会では、水の安全について何人が質問しました。北谷浄水場の一部水源である中部河川と井戸群において、PFOS等が検出されていますが、粒状活性炭を使用した高度浄水処理等の対策により、PFOS等の濃度は暫定目標値1リットル当たり50ナノグラムを下回っているとのこと。

には、PFHXSについて記載があるが、どのような物質か。

答 弁 大嶺政信 上下水道部長

PFHXSの主な用途は、泡消火薬剤、金属メッキ、フッ素ポリマー加工助剤、電子機器及び半導体の製造等であり、PFOS及びPFLOAと同様の性質を持ち、その代替品として使用されてきた。

令和3年4月に要検討項目に位置づけられ、今このころ目標値等は定められていない。要検討項目とは、毒性評価が定まらないことなどから水質基準項目、水質管理目標設定項目に分類できない項目であり、今後、データの収集を図つてゆくものとして定められた項目となっている。

また、那覇市上下水道局のホームページには、PFHXSについても検査をして、結果を公表しています。どのような物質が質問しました。

上下水道局のホームページ

なお、令和3年度の北谷浄水場系統のPFHXSの値は1リットル

5月18、19日に予定していた「議会報告会及び市民との意見交換会」は、新型コロナウイルスの警戒レベルにより動画配信になりました。アンケートにもご協力ください。



アンケートの回答期限は7月31日!

よろしく  
お願いします

## 議会報告会及び市民との意見交換会

動画配信中



ル当たり1〜4ナノグラムとなっており、直近では5月16日の検査において、1ナノグラムであったことを確認している。

PFOS、PFLOA

高年齢者または障がいのある方などで、「ゴミ出しが困難で身近で協力を得られない世帯を対象に、収集員が玄関先等でごみの定期収集を行う事業があります。事業の実績や利用方法を伺う。」

大嶺政信 上下水道部長

本市ではPFOS等の水質検査を水道法第20条の規定に基づき、厚生労働省の水質検査登録機関に委託している。令和3年度、4年度ともに48万4千円。

※北谷浄水場から受水していない水道局においては、検査する必要がないわけ、私たちの水道料金で毎年検査費を出していくということなのです。国の負担で検査をするべきではないでしょうか。と要望しましたが、国が負担するということも、結局私たちの税金。本来は米軍、アメリカが負担すべき検査であり、土壌汚染の除去なのです。好き勝手に土壌を汚染し原状回復はしなくてよい日米地位協定。見直しを求めて、これからも頑張り

たいと思います。 ※PFOS等について、市民への血中濃度測定調査をしてほしいことを要望しました。

## ゴミの収集

那覇市では、65歳以上の高齢者または障がいのある方などで、「ゴミ出しが困難で身近で協力を得られない世帯を対象に、収集員が玄関先等でごみの定期収集を行う事業があります。事業の実績や利用方法を伺う。」

大嶺政信 上下水道部長

アシスト収集の過去3年間の実績は、令和元年度397世帯、2年度384世帯、3年度435世帯で増加傾向にある。

希望する人には安否確認をするということだが、見守り状況は?

儀間規子 環境部長

昨年度は利用者から体調が悪いとの訴えがあり、関係機関となつている居宅支援事業所に引き継いだ事例が2件、収集員が救急車を手配した事例が1件。幸い全て大事には至っていない。声かけの実施は、地域包括支援センターな

ど関係機関からの要望も多く、今後とも連携を密に推進したい。

アシスト収集の手続方法について伺う。

儀間規子 環境部長

那覇市地域包括支援センターや那覇市社会福祉協議会などの関係機関が対象者本人の意思を確認した上で申請となる。その後、本市を含め関係機関、対象者の3者で面談を行い実施する。

ごみ収集は外部委託を切る

中では、アシスト収集は直営の事業としてしっかりと位置づけられている。高齢者福祉、障がい者福祉との連携に直結し、個人情報も扱うので、直営での継続的な実施をお願いしたい。そして、この事業は現業職の皆さんが担っている。現業職員の採用についてもお願いしたい。

アシスト収集は、第8次

幸地貴 都市みらい部長

なほ高齢者プランの理念である「高齢者がいきいきと、支えあいのある地域の中で、安心して暮らせるまちの実現に寄与する地道な取組」と評価します。

## 公園行政について

4月に視察した羽根木プレーパーク。子どもたち向

けの看板には次のような言葉が。プレーパークは公園での自由な遊びを指して、区と地域の人たちとプレーリーダーとの協力で運営されています。(中略) 子どもが公園で自由に遊ぶためには、事故は自分の責任という考えが根本です。そうしないと禁止事項ばかりが多くなり楽しい遊びができません。このプレーパークのモットーは「自分の責任で自由に遊ぶことです。みんなの協力で楽しい遊び場をつくりましょう」

自己責任と言っています。プレーパークが空き地と違うのは、プレーリーダーの大人がいて、スコップや木材や焚火道具を管理して、遊具を造る。子どもたちを見守る。子どもと遊ぶ、そして地域の大人との連携などを行っています。世田谷区では場所を確保し、プレーパークの運営はNPOに業務委託をしています。

公園の活用について、常設のプレーパークを検討できないか

幸地貴 都市みらい部長

本市の公園ではプレーパーク専用の設備はない。過去に民間団体が大石公園でブルーシートやロープなどを持ち込み、水

遊び、木工遊び、泥んこ遊び、ロープ遊びなどを行うため許可した事例がある。プレーパークについては、地域や公園利用者の意見を確認しながら、他市の事例を調査研究したい。

※公園の活用については公園協議会を立ち上げていく方向にあります。プレーパークについても協議の場を上げてほしいと要望しました。子どもが伸び伸びと遊べる居場所であり、自己実現ができる場所であり、仲間がいる場所、そして大人に悩みが言える場所づくりとして、公園行政として児童福祉の観点を持って取り組んでもらいたいと思います。

このほか、配偶者暴力相談支援センターの本市での設置についても取り上げました。都道府県に設置が義務付けられていますが、市町村も設置が可能です。豊見城市が3月から配偶者暴力相談支援センターの看板を上げています。那覇市でも検討してほしいです。

このほか、配偶者暴力相談支援センターの本市での設置についても取り上げました。都道府県に設置が義務付けられていますが、市町村も設置が可能です。豊見城市が3月から配偶者暴力相談支援センターの看板を上げています。那覇市でも検討してほしいです。

幸地貴 都市みらい部長

このほか、配偶者暴力相談支援センターの本市での設置についても取り上げました。都道府県に設置が義務付けられていますが、市町村も設置が可能です。豊見城市が3月から配偶者暴力相談支援センターの看板を上げています。那覇市でも検討してほしいです。



一般質問のインターネット中継はこちらのQRコードから

## ★新米議員エッセイ★

「別姓でも同姓でも」

ついに那覇市議会で、「選択的夫婦別姓制度の法制化を求める意見書」が採択された。市民団体からの陳情を受け、総務委員会が審議をつくり、委員会が採択され、総務委員長から本会議で提案されて賛成多数で採択されるという道のりをたどった。

私は総務委員会ではないので、やきもきしつつ待っていた。ずっと事実婚で別姓をしてきた者として、自席の「賛成」ボタンを押しながら、法制化を心から願った。

ちなみに意見書のあて先は、衆議院議長、参議院議長、内閣総理大臣、法務大臣、総務大臣、内閣府特命担当大臣(男女共同参画)となる。

議場では「選択的夫婦別姓制度ではなく、通称使用の充実をはかるべき」と反対意見が述べられた。通称使用をしたことがない人には、あの不自由さはわからない。小手先の通称使用の充実などで解決する問題ではないのである。選択的夫婦別姓が制度化されれば、問題は解決するのだ。

と、思っていたのだが、先日、通称で旧姓を使用している女性から相談を受けた。銀行口座では通称が使えない。旧姓で仕事をしてくいて、対外的に浸透している名前を使えないのは違和感があるし、周囲からも「誰?」となってしまう、ということだった。彼女の場合は、選択的夫婦別姓制度を求めているわけではない。

戸籍上も夫婦別姓にしたい夫婦、戸籍上は同姓にしたうえで通称使用をしたい夫婦、やっぱり夫婦同姓にしたい夫婦、みんなが幸せに、いきいきと生きられるように制度を整えたい。みんなの幸せのために政治はあるはずだ。さあ、何ができるのか?

市議会議員になって1年。ああでもない、こうでもないと思ひ悩む日々だった。きっとこれからも悩み続ける。一緒に悩むことから何かが変わると信じていたい。今後とも、どうぞよろしくお願ひします。